

ベルト片寄りの調整方法

拝啓

貴社ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。皆様よりお問い合わせの多い、ベルトの片寄りの調整方法を御連絡致します。

敬具



図の様にベルトが右側に片寄りしていると、フレームとベルトが擦れますので、**耳切れの原因**となります。片寄りの原因は、**ローラーへの土の付着、ベルトとトラフ板の間への土の詰まり**等があります。



先ずローラー等の清掃をしておく事が必要
清掃だけで片寄りが直ることが大半です。

ベルトの調整は左右のボルトで行います。スパナ等で、時計の回転方向に回すと、ベルトは緩んできます。回転するベルトは、緩んだ方に寄ってきます。上の写真の場合は、左側を緩めるか、右側を反時計回りに回してテンションを上げていくかして、ベルトの位置を調整します。その時の判断はベルトの張り具合です。あまり張り過ぎるとモーターに負荷を掛けたりベルト切断の要因となります。



写真のように、テールローラーの真中にベルトがきて、左右が均等になれば、OKです。ベルコンの修理費の大半はベルト片寄りによる、ベルトの切断です。わずかな手間で簡単に調整出来ます。